

# 過去・現在・未来へつなげる食・農・農山村の豊かな暮らし

下 浦 隆 裕  
(SHIMOURA Takahiro)

## I. はじめに

奈良県では、令和2年4月1日に「奈良県豊かな食と農の振興条例」を制定しました。食を通じ、消費者の方は「感謝」の念を、生産者の方は「誇り」の念を5持って、お互いの繋がりを育み、健康で豊かな食生活と地域経済の発展を目指しています。

この条例の理念を基に、自然・環境・文化と共生しながら「食」や「楽」をキーワードに情報通信が人々の繋がりを創り、これからの文化として次世代に繋ぐ10ことと、特に農山村の誰もが情報通信技術を実感でき実装できることを未来図として描きました。

## II. 情報通信の状況と課題

総務省の調査によりますと7割以上の人々がスマートホンを利用し、テレワークは、約3割程度の普及と15なっています。一方、コロナ感染症により新しい生活の価値が見直され、農山村地域の高速通信網のニーズが高まっています。都市でも農山村でも、どこにいても情報通信で繋がる環境として、特に農山村や離島などでは、「医療」や「防災」、「教育」、「食や農」など20への活用が飛躍的に進むものと考えられます。

しかしながら、通信環境は進んでも、老若男女の万人が使いこなせることが重要であり、どのように普及していくかも課題の1つと考えます。農山村の魅力地域住民自らが発信することと合わせて実現してい25けないか考えます。

そこで、未来の情報通信網の普及に合わせて、魅力発信による農山村の活性化を提案します。

## III. 情報通信による新たなつながり

### 1. 情報通信で都市と農山村の距離を縮める

30 未来図の一つとして、オンラインシステムや動画配信システムにより農山村の魅力発信し、共感・共有により都市（消費者）と農山村（生産者）の**農山村情報ネットワーク化**が進むことです。合わせて、農山村地域での情報通信網を使い、住民自らが情報通信技術35を実感・実践・実装して使い、地域の魅力を発信して普及が進むことを描きました。

情報通信により人々の距離が縮まり、様々な応援・関わりの「カタチ」を構築できるのではないかと考え

ます。例えば次のようなことが考えられます。

#### 40(1)食べて応援

地域の食材（農産物・加工品）の購買応援

#### (2)参加して応援

地域の農作業、地域活動等への参加

#### (3)働いて応援

#### 45 リモートワークやワーケーションによる半農半X活動

#### (4)投稿して応援

農山村と都市の新たなつながり、関わり、共感

#### (5)新たな地域コミュニティツール

集会や座談会、行事や祭事のオンライン繋がり

#### 50 2. 共有・共感できる仕掛け・人材育成

そのためには、人々の想いを緩やかにつなげる**農山村情報ネットワーク**が重要と考えます。オンラインなどの情報通信技術を使い、小グループで座談会や農業体験、料理教室などの農山村の魅力発信の実践を始55め、その参加者がまた別のグループを作り実践しながら活用を広めて通信技術に慣れ使いこなします。これらを「ノウカル（農業と文化<カルチャー>の造語）活動」と呼び広めていければと考えています。

#### 3. 自然環境との共生や防災効果の関心度を高める

60 その他、田んぼダムとして、遠隔の水管理の他、防災効果や農業体験、購買応援（つから米）、木材利用（木製排水桝）の情報発信により理解が進み、更には、水田の水管理や水質管理の技術や暗渠排水の理念を活かした地下水の循環利用による水田の「水循環装65置化」への新たな水田活用も想定しました。

## IV. 10次産業化の提案

飛躍的に進む情報通信技術を特に農山村地域の誰もが理解・活用しながら普及するためには、キャッチフレーズも必要と考えます。そこで、1次：農業、270次：加工、3次：サービス、4次：情報通信による新しい文化や理念とし、「10次産業化」と称して推進することを提言したいと思います。

## V. まとめ

情報通信網の普及により、農・食・農山村観光・農75山村文化などの10次産業化による農山村の魅力・価値・役割を共有・共感・応援できる新たな関係構築による農山村地域の活性化を未来図に託しました。

# 情報活用による農の10次産業化

「楽」をキーワードに  
農業農村を魅力あるものに

## 1次 農を楽する

農作業の電化・自動化  
水管理の遠隔化  
田んぼ 水循環・浄化・ダム  
ドローン・GPS活用 (管理・消毒)

## 2次 食を楽しむ

特産品開発・食品加工  
オンライン食育・配食サービス  
出荷作業・管理 効率化

## 3次 農村を楽しむ

農業体験・生きもの体験  
半農半X・ワーケーション  
ヒーリング・健康増進  
農村での出会い・つながり・交流

## 4次 時代

伝統行事祭事のオンライン発信  
伝統食の継承  
歴史文化のアーカイブ化

# 10次産業化

農 + 食 + 農村 + 文化  
1次 2次 3次 4次

